

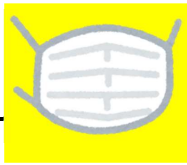
# 江戸取図書館便り 10月2号



かむなづき

神無月(陰暦十月・神在月)

かみありづき



「所蔵する89件の国宝 東京国立博物館のすべて」

東京国立博物館 150年記念特別展 紹介

「栗食むや 若く哀しき 背を曲げて」(石田波郷)

「久しくて 次なる雁の 鳴き渡る」(中村汀女)



\*「栗の生産量ランキング」全国一位は、(2006～2020年まで連続)茨城県です(全国の約20%強)。代表する「栗の里」は、笠間市です。  
 \*モンブランも新栗だと一段とおいしいのです。「2022年10月1・2日 かさま 新栗まつり」がありました。  
 \*「雁の飛来」は、冬の訪れを感じさせる風物詩でしたが、その数は激減してしまいました。真雁は保護鳥となり禁猟となっています。  
 \*『雁』森嶋外著や『銀河鉄道の夜』宮澤賢治著などに登場します。



\*「大蒔絵展」を見て(「大蒔絵展」は、図書館便り10月1号に紹介)  
 ・蒔絵のほどこされた手箱には、源氏物語絵巻などが納められていました。華やかな絵巻ではありませんが、そこに絵があることで読み手を魅了したことでしょう。  
 ・国宝とは、「重要文化財のうち、特に学術的価値が高いもの、美術的に優秀なもの、文化史的意義の深いものとして、文部科学大臣が指定する」(広辞苑)  
 ・『源氏物語』は、『紫式部日記』の記述から1008年には一部成立しています。源氏物語絵巻は、12世紀にすでに存在しています。このような絵巻が多数つられ、その一つが現存しています。この時間の経過が、国宝なのです。(司書)

・「本の帯や POP で紹介(1段目の本)」⇒図書館で帯や POP を見てからどうぞ  
 ・「映画化の原作(2段目)」⇒『かがみの孤城(同名)』『母性(同名)』『medium 霊媒探偵城塚翡翠』→日本テレビ『霊媒探偵・城塚翡翠』『マリアビートル』→ブラッド・ピット主演『ブレッド・トレイン』  
 ・「はてなぶっくす?(2・3段目)」⇒今回は SF の名作! きつと気に入るよ、勘でひらいて、読んでみて  
 ・「青崎有吾の本(3段目)」⇒『〇〇館の殺人』『アンデッドガール・マーダーファルス』他多数あります  
 ・「芥川賞・直木賞・本屋大賞(4段目)」⇒これらは直近2回の受賞作 過去の受賞作もあります

